

目 錄

序 言 目 錄

第一章 品詞概說	11
1. 十大品詞	11
2. 自立語、付屬語	11
3. 活用語、非活用語	11
4. 十大品詞概說	12
5. 日語的構造與語序	19
(1) 文、文節與單語	19
(2) 自立語、付屬語	20
(3) 文節間的相互關係與結合順序	20
第二章 名詞	25
1. 名詞的特質	25
2. 名詞在句中的功能	25
3. 名詞的種類	26
(1) 固有名詞	26
(2) 普通名詞	26
(3) 代名詞	26
(4) 數詞	27
(5) 形式名詞	28
第三章 連體詞	34
1. 連體詞的特質	34
2. 連體詞在句中的功能	34
3. 連體詞的種類	35
4. 連體詞的用例	35
5. 連體詞與其他語詞的識別	40
第四章 助動詞	43
1. 助動詞的特質	43
2. 學習助動詞時的注意事項	43
3. 助動詞的分類	43

4. 助動詞的用法分析	44
(1) 使役助動詞 せる・させる	45
(2) 被動助動詞 れる・られる	50
(3) 可能助動詞 れる・られる	55
(4) 尊敬助動詞 れる・られる	60
(5) 自發助動詞 れる・られる	62
(6) 希望助動詞 たい・たがる	65
(7) 否定助動詞 ない・ぬ(ん)	72
(8) 推定助動詞 らしい	80
(9) 意志・推量助動詞 う・よう	84
(10) 否定意志・推量助動詞 まい	88
(11) 過去・完了助動詞 た	91
(12) 鄭重助動詞 ます	95
(13) 斷定助動詞 だ・です	99
(14) 樣態助動詞 そうだ・そうです	107
(15) 傳聞助動詞 そうだ・そうです	113
(16) 比況助動詞 ようだ・ようです	117
第五章 副詞	123
1. 副詞的特質	123
2. 副詞的種類	123
3. 副詞在句中的功能	123
4. 副詞的用例	125
(1) 狀態副詞	125
(2) 程度副詞	169
(3) 敘述副詞	175
第六章 接續詞	192
1. 接續詞的特質	192
2. 接續詞在句中的功能	192
3. 接續詞的種類	193
4. 接續詞的用例	194
5. 接續詞與其他語詞的識別	204
第七章 感動詞	206

1. 感動詞的特質	206
2. 感動詞的種類	206
3. 感動詞的用例	206
第八章 接頭語・接尾語	215
1. 接頭語	215
2. 接尾語	223

第四章 助 動 詞

(1) 助動詞的特質

1. 它是付屬語，本身不能單獨構成文節，而須付屬於其他自立語的後邊方能使用。
2. 它有活用，亦即有詞形變化。
3. 主要是接於用言之下（但偶而亦可接於体言或某些助詞下邊）用來添加種種意思。
4. 助動詞偶可重疊使用，但其排列有其先後順序。

(2) 學習助動詞時的注意事項

現代日本語裏頭，助動詞約有二十餘個，不過，這些助動詞各個皆有其不同的意義，也有不同的詞形變化，所以我們在學習助動詞時，應特別留意下列三點。

1. 接續法：即某一助動詞它應接在哪種語詞或哪種活用形下邊。
2. 詞形變化：某一助動詞它語尾變化究竟是如何。
3. 意義：某一助動詞它具有哪種意義。

(3) 助動詞的分類

如上所述，當我們學習助動詞時，應注意其接續法、詞形變化及其意義，也因此，要分類助動詞，我們可從這三方面來着手。

I. 從意義上來分類

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 使役： せる、させる | 2. 被動： れる、られる |
| 3. 尊敬： れる、られる | 4. 可能： れる、られる |
| 5. 自發： れる、られる | 6. 否定： ない、ぬ（ん） |
| 7. 希望： たい、たがる | 8. 断定： だ、 です |
| 9. 過去・完了： た | 10. 傳聞： そうだ、そうです |
| 11. 樣態： そうだ、そうです | 12. 比況： ようだ、ようです |
| 13. 推定： らしい | 14. 意志・推量： う、よう |
| 15. 否定意志・推量： まい | 16. 鄭重： ます |

II. 從接續法來分類

1. 接活用語（即接用言或助動詞）者：

- ①接未然形者： せる させる れる られる
 ない ぬ（ん） う よう
 まい（接五段以外の動詞時）
- ②接連用形者： ます たい たがる
 た そうだ・そうです（樣態）
- ③接基本形者： らしい そうだ・そうです（傳聞）
 まい（接五段動詞及「ます」時）
- ④接連体形者： ようだ ようです

2. 接非活用語（即体言或其他語詞）者：

- ①接体言者： だ です らしい
- ②接助詞之下者： だ です ようだ ようです らしい
- ③接形容詞語幹者： そうだ・そうです（樣態）
- ④接形容動詞語幹者： らしい

III. 從活用上來分類

- ①動詞型活用戶： せる させる れる られる
 たがる
- ②形容詞型活用戶： たい ない らしい
- ③形容動詞型活用戶： だ そうだ・そうです（樣態）
 そうだ・そうです（傳聞） ようだ・ようです
- ④特殊型活用戶： ぬ（ん） た です ます
- ⑤無語形變化者： う よう まい

※助動詞的分類，大致依上述方法分類之，本書為便於學習，故採從意義上分類的方法來加以詳述。

（4）助動詞的用法分析

1. 使役助動詞 せる させる

意義：使役助動詞是一種用來使役他人做某一動作的語詞，語意中帶有「使某某人～、讓某某人～、令某某人～、叫某某人～」等意思。

がくせい ほん よ
 < **學生が** 本を**読む**。 > (學生看書——普通敘述句)

せんせい がくせい ほん よ
 → 先生は **學生に**本を**読ませる**。 (老師叫學生看書——使役句)

接續：せる——接於五段或サ變動詞一變未然形下邊。

させる——接於上一段、下一段及カ變動詞一變未然形下邊。

か か か
 如：**書く** (五段) → **書か** + せる → 書かせる

する (サ變) → **さ** + せる → させる

べんきょう べんきょう べんきょう
勉強する (サ變) → **勉強さ** + せる → 勉強させる

み み み
見る (上一段) → **見** + させる → 見させる

た た た
食べる (下一段) → **食べ** + させる → 食べさせる

く こ こ
来る (カ變) → **来** + させる → 来させる

活用：其語尾活用比照下一段動詞來變化。

單語	未然形	連用形	基本形	連体形	假定形	命令形
せる	せ	せ	せる	せる	せれ	せろ せよ
させる	させ	させ	させる	させる	させれ	させろ させよ

用例：

第一變化 (未然形)